

あいとうリサイクルシステム



団体：東近江市愛東支所
住所：滋賀県東近江市妹町 29
時間：平日 8:30～17:15 休日：土・日・祝日
電話：0749-46-2261

愛東地区では、琵琶湖の水質保全を目的に、昭和56年から消費生活グループによって資源ごみの回収が始まりました。当時の回収は、消費生活グループ員や行政職員、町内若者有志「愛援隊（あいえんたい）」のメンバー総勢40名が、年に数回、23の集落へ資源類（缶、ビン、廃食油）を引き取りに行っていました。そして、広域の最終処分場が処理能力を超える事態に直面したのをきっかけに、昭和61年から、住民、自治会及び行政が協働し、住民自らが分別・収集・運搬を行う「あいとうリサイクルシステム」が確立しました。

取組を始めて30年以上が経過しますが、今も毎月1回決められた日に、自治会できれいに分別された資源ごみ（注1）があいとうエコプラザ菜の花館に運び込まれています。

※缶（スチール缶・アルミ缶）、ビン（白・茶・その他）、ペットボトル、紙パック、食品トレイ、廃食油、乾電池の7品目を10種類に分別して資源として回収しています。

e-ポイント：環境三方よし

- 住民主体の収集により**環境**によし
- 収集費用削減で**経済**によし
- 人や地域とかわる時間が増えて**社会**によし



家庭から持ち込まれる資源類を、ルール通りに洗浄・分別できているか、自治会の当番がチェックします。 ↓



きれいに分別された資源ごみを自治会が菜の花館まで搬入します。 ↓



指定の場所に分類します。

モニターの声

我が家では、飲んだ後のビンや缶は洗って分別するのがあたりまえになっています。